

お 知 ら せ

高山市開催の言語保育発達検査研修会のテキストについて

この度の標記研修のテキストについての補足説明をします。

子どもたちのつまづき、或いは困り感は言葉の発達によってうかがい知ることができません。又言葉の問題は保護者も気がつきやすく、「ことばの教室」などの行政機関などへ相談したり、時には療育を受けたりします。

このことから、保育心理士会の立ち上げ時からのメンバーであります牧野桂一、山田眞理子両先生がエイデル社に協力を依頼して、『**牧野・山田式 言語保育発達検査キット**』が昨年刊行されました。



MIMPO では早速このキットを活用できるように講習会を昨年、岐阜市福祉会館で実施しました。

発達検査は療育の世界だけでなく、保育現場でも活用して、子どもたちの困り感や保護者の不安を少しでも軽くできる事を目指さなくてはなりません。

そして、何より現場の保育者がよりの確な援助ができることを目指しています。

少々、価格は高いですが、園に一つあれば十分です。

尚、当日、試用できるキットも5部ほど準備いたしております。

「牧野・山田式 言語保育発達検査キット」は、検査結果を日常保育につなげるためのものです。実施する際には、『ことばが育つ保育支援』（エイデル研究所 刊）を必ずお目通しください。

【構成】

手引書、実用ファイル、検査回答記録用紙、ついで、1-3(リング綴じカード15枚)、1-4(カード5枚)、2-1(カード7枚)、2-2(カード6枚)、2-3(カード6枚)、2-4(カード5枚)、絵3枚(B5判)

【検査者が用意する物】

(ミニチュアを用意する時の注意については、手引書の7頁をご覧ください)

検査1-2(ミニチュア)

①日用品(時計・茶碗) ②おもちゃ(車・人形・ボール) ③道具(スプーン・はさみ)
④食べ物(りんご・バナナ) ⑤衣服(帽子・くつ) ⑥動物(犬・猫)

検査7

積み木、ボタン、犬(ミニチュア)、ふたのある箱、はさみ

発売元: 株エイデル研究所

〒102-0073
東京都千代田区九段北4-1-9
☎03(3234)4641 ㊟03(3234)4644
©2013.Pro-ho, K.Makino, M.Yamad

エイデル研究所

文責: 脇淵

